

認知症は高齢者だけの病気ではありません！

若年性認知症について

みなさん若年性認知症をご存知ですか？ 今回は若年性認知症について取り上げてみたいと思います。若年性認知症については、06年に公開された渡辺謙主演の「明日の記憶」や、最近ではNHKの朝ドラ「純と愛」で、ヒロインの母が発症するなど病気の認知度は高まりましたが、病気の実態についてはまだまだよく知られていないのが実情です。

ご存知の通り「認知症」は、脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったりしたために起こる様々な障害により、生活に支障が出ている状態を言います。

『若年性認知症』とは、18才から64才までのいわゆる「現役世代」に発症するものを言います。

厚生労働省の研究によると、「現役世代」のうち男性の概ね1,700人に1人、女性の概ね2,700人に1人が認知症と推定されているそうです。また、若年性認知症が発症する平均の年齢は、概ね51歳と推定されています。ちょうど組織の中核として、一家の働き手として重要な時期にあたります。その為、認知症が原因かもしれない仕事上のトラブルやうつ状態を、ストレスや年齢の為と感じて見過ごしてしまうなど、他の病気と勘違いしてしまいがちで発症に気付かないでいるかもしれません。

『若年性認知症』の原因となる病気はさまざまですが、最も多い「脳血管性認知症」と「アルツハイマー型認知症」を合わせると、全体の65%に上り、その他「前頭側頭型認知症（ピック病など）」や「レビー小体型認知症」、頭部外傷後遺症やアルコール性認知症等があります。病気によって治療法が異なる為、専門医の確定診断が重要になります。

認知症は
高齢者だけの
病気では
ありません。



✓ 早期発見の為に ~認知症のチェックリスト~

1. 会ったことのある取引先の人や商談の日時を忘れるだけでなく、その人が取引先の人であることや商談の約束をしたこと自体も思い出せないことがある。
2. 電話など、意識する事もなく使えたはずの慣れた道具の使用に、戸惑うようになった。
3. 日常使っていた簡単な言葉が思い出せなくなって、“あれ” “それ” と言ってしまふことが多くなった。
4. 通勤経路や行き慣れた先への出張などで、どこにいるかわからなくなり道に迷ったことがある。
5. 今日が何月何日か思い出せないことが多くなっただけでなく、生活リズムも乱れて夜でも眠れなくなったり、昼までも眠くなったりするようになった。
6. 寒いのに薄着をしてしまったり、暑いのに厚着をしてしまったりと気温に応じた服装の調整が苦手になった。
7. 打ち合わせや会議で話について行けなくなった。
8. 探し物が多くなり、例えば冷蔵庫で探し物の鍵が見つかるなど普通では考えられないところに置き忘れたことがある。
9. その場の空気に合わない感情反応をしてしまい、周囲を驚かせてしまったことが多くなった。
10. 疑り深くなった・いらいらするようになった・気がふさがちになった・無関心になった・心配性になった等、以前と比べて性格が変わったと感じたり、言われたことがある。
11. 仕事や家事、趣味に対する意欲がなくなり、ボーっとしている時間が長くなった。



「普通のもの忘れ」と「認知症」の違い

一般的なものの忘れと病気が心配されるもの忘れの違いは、症状の「頻度・重さ・広がり」にあります。

「頻度」・・・物忘れが増えた、

「重さ」・・・夕食のメニューを忘れるのは普通のもの忘れ。

夕食を食べたことを忘れる「重い」もの忘れは、認知症の疑い。

「広がり」・・・もの忘れだけでなく、うまく言葉が出ないとか、道に迷うなどもの忘れ以外に症状が「広がった」場合。

《認知症の初期症状》

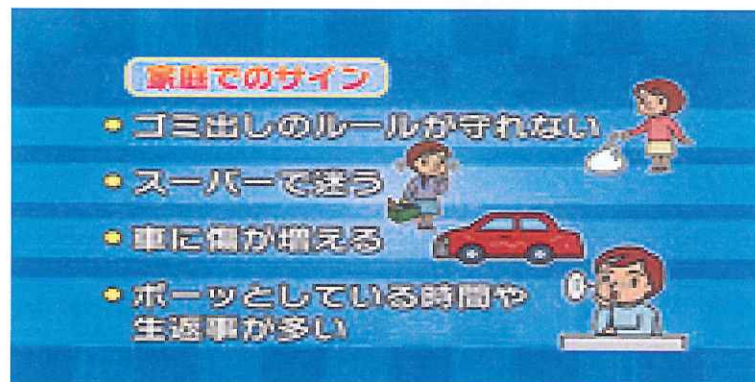
- ・気分が落ち込む
- ・怒りっぽくなる
- ・めまい、頭痛、耳鳴り
- ・料理の味が変わる



主婦がアルツハイマー病 家族の気づきのポイントは？

ある主婦の場合、最初は簡単な料理しか作らない、掃除や片づけをしないといったささいなことから始まり、次第に食卓の自分の席を間違える、食事の配膳ができない等の症状が現れ受診した結果初期のアルツハイマー病と診断されました。主婦の場合は、一人で家の中に居ることが多いため、変化に気づきにくい場合があるそうです。

【家庭でのサイン】



「大切な早期発見・早期治療」

現在のところ、多くの場合認知症を治す事は困難です。しかし、病気の進行を遅らせたり、症状を改善したりすることができることも少なくありません。

家族や企業に深刻な影響を及ぼす若年性認知症に対処するには、初期の段階で発見し、早期に治療を開始すると共に、治療に適した環境を整えることが非常に大切です。

引用資料

埼玉県福祉部高齢介護課 リーフレット

<http://www1.nhk.or.jp/asaichi/2013/03/06/01.html>

所沢ロイヤルの丘 看護科 看護総師長
勇 節子

1階デイケアでは、毎年11月3日「文化の日」にちなみ、文化祭を開催しています。作品は、絵・貼り絵・座布団・ペンケース・小物入れ・お手玉・手毬・お財布等、様々です。ご利用者様が昔作成したもの、デイケア利用時に作成したものになります。どの作品も繊細かつ、綺麗な物ばかりで完成度には職員も驚くばかりです。作品はデイケアカウンター前に展示し、ご利用者様は勿論、来所されたご家族様にも見て頂きました。

来年もどのような作品が展示されるか今から楽しみです。



1階デイケア介護職員 中畑邦一

1階 デイサービス 文化祭

4階

焼き芋作り

4Fでは、11月の行事で“安納芋”と“金時芋”の2種類を使用し簡単レンジで焼き芋を作りました。職員が切ったサツマイモを利用者様に新聞紙で包んでもらい、レンジでチンするとホクホクの焼き芋ができました。

利用者様にサツマイモをどう切ったら良いか尋ねながら行ったり、新聞紙で包む際には手が黒くなってしまったことに笑い、美味しくできるかわくわくしながら出来あがるのを待ちました。金時芋はホクホクで美味しく、安納芋は甘さがありとても美味しかったです！



4階介護職員 浅見英梨香

5階 月見DEたこ焼き

5階では「食べ物を作る行事がいい」というリクエストにお応えし、たこ焼きを月に見立てた『月見DEたこ焼き』を行ないましたので、その報告をさせていただきます。以前に行なったクレープ作りのときもそうでしたが、最初は皆様「できないよ」「(職員が) やってよ」などといった声が聞かれていましたが、いざ焼き始めてみると「楽しい」「私もやってみたい」などといった声が多数聞かれていました。

今回の行事は『月見』ということで、『たこ焼きを満月に見立て、月見を楽しもう』という目的で行なったのですが、皆様『月見を楽しむ』というよりは『たこ焼きを味わう』ことに精を出され、企画者としては「少々、失敗だったかな？」とも思いましたが、笑顔で楽しそうにたこ焼きを焼かれ、調理をする際の醍醐味である、つまみ食いを楽しまれている利用者様達は普段とはまた違った、いい表情をされておりました。

目的であった、『月見』としては失敗だったかもしれませんが、自分達で焼いたたこ焼きを「熱っ!!」と言いながらおいしそうに食べている満面の笑顔は満月よりも美しく、行事としては盛況のうちに終わることができ、成功だったと思います。

なお、行事の様子は5階エレベーター前の廊下に貼り出しています。月見の他にも以前に行なった行事も貼り出しています。皆様、いい表情をされているので、ぜひ見いらしてください。



5階介護職員 下村 昌弘

3階 山口観音

健康と安全を祈念するために27名の利用者様を山口観音へお連れしました。「日本人なら神仏に手を合わせるのは常識だろう。みんなを連れていくぞ!!」という私の独断で決まりました。清々しい10月の風がより一層雰囲気盛り上げます。皆さん神妙な面持ちでお参りをされていました。何をお願いしましたか?と私が尋ねると「子供達が元気であるようにだよ」と答えてくれたIさん。わが身より子供の幸せを…母の愛はどこまでも深いのだと感心しました。また、神聖な場所だからでしょうか、「空気が美味しい」「心が洗われるようだ」というコメントが多く聞かれました。外出と言えば食事が通例ですが、たまにはこういうものいいものです。



3階看護師 佐藤 匠

6階 秋の大運動会



吹く風が少しずつ秋の季節の到来を感じさせる中、平成25年10月22日に運動会を行いました。

万国旗や得点表、優勝カップで会場を盛り上げ、ご利用者様にもそれぞれ紅白のハチマキを巻いて頂き、運動会の雰囲気を感じて頂きました。玉入れや仮装競争、パン食い競争を行った後、ご利用者様皆様に表彰状をお渡ししました。最後には集合写真を撮影し、ご利用者様も大変喜ばれている様子でした。

今後も季節ごとの行事を企画し、ご利用者様に喜んで頂けるよう、努力していきたいと思ひます。



6階介護職員 勝山 詠子

2階の記事

10月21日御利用者様3名と一緒に小手指にあるとんでんと、グリーンガーデンへ行ってきました。とんでんでは美味しくそうに食事を召し上がり、「美味しかった。」と言っていました。食事を召し上がった後、グリーンガーデンに行き洋服を購入したり、ペットショップで犬や猫などを見たりして、それぞれの御利用者様が楽しまれました。外出から帰った後、御利用者様から「楽しかった。」何度も「ありがとう。」という言葉を送っていただいたので、外出してよかったと思ひます。また、利用者様が楽しめるような企画を考え外出していきたいと思ひます。



2階看護師 工藤 祐加